

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	自治会加入促進事業『大野中！地域カパワーUP事業』	【No. 1】
申請団体	大野中地区自治会連合会	
事業目的等	多くの区民に自治会活動の理解と未加入者の加入促進を図る。 地域リーダーである自治会長が課題や問題点を共有し、解決策を見出し取り組むことにより地域の活性化を図る。	
交付決定日	平成22年 7月12日	
交付決定金額	720,000 円	(全体事業費 720,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動の目的や活動内容を広く区民にPRできた。 ・自治会加入促進は、ふるさとまつり、公民館まつり(3館)でブースを設け、自治会活動等のパネル展示やクイズ等で自治会活動のより一層のPRが出来た。 ・31自治会関係者による懇談会を実施、自治会の問題点や課題等を共有し解決案を探った。 <p>◇自己評価</p> <p>H22年度は立ち上げの年のため、自治会長本人も何をどうすれば良いのかという状況だったが、クイズを取り入れたことで、PR自体もやりやすかったと感じる。</p> <p>自治会長懇談会では、他の自治会のやり方や問題・課題を共有し、課題解決のヒントを得た、今後の運営に参考になったという声が多かった。ただ実施時期はもっと年度の早い時期が良いとの意見も多かった。</p>	
市評価	<p>自治会加入促進コーナーでは、クイズ形式等で自治会活動の中身を知ってもらう工夫がなされ、多くの市民が興味を示され効果があったようである。また、自治会設立の動きに対し協力と支援を行い、新たに「グレイスタウン大野台自治会」が誕生。全170世帯中141世帯が加入(加入率83%)。</p> <p>自治会長懇談会は、問題・課題を共有し、課題解決のヒントにつながっているため、来年度実施の際は、年度の早い時期が理想である。</p>	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	町火消『大野台消防団づくり』事業	【No. 2】
申請団体	大野台地区消防団設立委員会	
事業目的等	大野台地区の地域消防力・防災力の整備と強化を図る。	
交付決定日	平成22年 7月12日	
交付決定金額	150,000 円	(全体事業費 150,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民への啓発活動・情報提供 団員募集チラシ(かわら版)3回発行、のぼり旗作成、各自治会へ配付。 ・運営に係る支援体制づくり ・団員確保に係る活動 60歳代の方や事業所からも応募。 ・詰所用地の選考 <p>◇自己評価</p> <p>団員募集は、3回発行のかわら版の効果もあり、8名まで応募あり。 詰所用地は、地権者にとっては中途半端な広さで中々良い返事がもらえず。市有地の候補も探っている。 詰所用地として可能性の高い場所や土地の情報提供等、市側の全面的な支援を望む。</p>	
市評価	<p>地域住民の自主防災意識の高揚が図れ、団員募集に関しては20歳代から30歳代の若者だけでなく、50歳代から60歳代の中老年まで幅広い応募があり、地域防災の担い手の育成につながっている。 全市的に担い手が少ないと団員確保に苦慮の中、半年間で12人中8人の応募があり、のぼり旗やかわら版によるPR効果があったと感じる。</p>	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	地域をまきこむ子育て事業	【No. 3】
申請団体	なかまみーず	
事業目的等	地域をまきこみながら、子育てを応援する地域の人材を育てるとともに、地域における子育ての支援拠点と子育て中の母親とのつながりを作る。また子育ての現状について学び、地域で子育てする意識を高める。	
交付決定日	平成22年 7月12日	
交付決定金額	224,000 円	(全体事業費 224,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座「子育てマップづくり学習会」の実施 既に、子育てマップ「ざまっぷ」を作成した座間市の母親を講師に迎え「マップ作りの目的、作成経過、その成果等」について学んだ。 ・なかまみーずマップ(チラシ版)創刊号(7月)と2号(冬号)の作成・発行・配布。 ・連続講座「保育ボランティア講座」を連続4回開催。 ・講座「命について考える事業」の実施。* 講座「みんなでつくるエコナプキン」の開催。 <p>◇自己評価</p> <p>ねらいとした、地域を巻き込みながら子育てを応援する人材を育てる点は、十分にできたとはいえないが、この活動を通して、地域の子育て中の母親たちが単に自分の子どもについて考えるのではなく、地域の一員として子育てを考える視点に立てたことは成果であった。</p> <p>チラシマップの発行や講座のまとめ誌は、今後の活動展開に役立てられるものであると考えている。</p>	
市評価	<p>子育て中の母親を応援する視点で、子どもが育ちやすい環境を地域住民と母親がともに作りあえる事業として展開できている。</p> <p>人材育成については、スタッフ側の「意識向上」と参加者側の「地域の一員としての意識向上」が図られている様子が伺える。</p> <p>課題として、地域で活動するメンバーを増員できるような具体策を考える必要がある。</p>	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	「木もれびの森」も一つと知っとこ！事業	【No. 4】
申請団体	「木もれびの森」も一つと知っとこ！プロジェクトチーム	
事業目的等	近隣小学校との連携により「木もれびの森」を環境や自然を学ぶ教育の場として活用し、自然観察や体験学習を通して、自然に触れ、感じ、関心を高め、身近なみどりや生き物を大切にすることを育むとともに、次世代に引継ぐための人材を育成します。	
交付決定日	平成22年 9月 6日	
交付決定金額	200,000 円	(全体事業費 200,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子供工作会開催 ・公民館まつり(3館)で「木もれびの森の妖精たち」写真展の開催 ・大野小でPTA主催の「親子交流会で秋の木の実や枝を使った作品作り」に協力 ・小学校(若松小、大野小)及び相模ひまわり幼稚園で「木もれびの森の妖精たち」写真展の開催 ・地区内公共施設やJA、幼稚園等に「木もれびの森カレンダー」を配付 <p>◇自己評価</p> <p>自治会長を中心に自治会内のサークルや団体が上手く連携し、初年度の事業にもかかわらず概ね計画通り実施。期待以上の効果を上げることができた。</p> <p>写真展を近隣の公民館で開催したことにより、予想以上の集客効果があり、より多くの市民に「木もれびの森」に残された自然、保全活動の重要性を知ってもらうことができた。</p> <p>「木もれびの森カレンダー(3年分掲載)」を公共機関、学校、幼稚園、金融機関、病院等に展示して頂けたことで、年間を通して関心を維持してもらえることが期待できる。</p>	
市評価	目的である「近隣小学校との連携による木もれびの森の環境や自然を学ぶ教育の場として活用する」ことが実践できており、「自然観察や体験学習を通して自然に触れ関心を高め、身近な緑や生き物を大切にすることを育む」ことに大きく貢献している。そして「次世代に引き継ぐ人材育成」のきっかけともなっている。	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	命を支える医療情報キット配布事業	【No. 5】
申請団体	医療キットプロジェクトチーム	
事業目的等	高齢者の一人暮らし、また昼間孤独高齢者及び障害者の緊急救命支援と自治会未加入者の加入促進を目的とする。	
交付決定日	平成22年 9月 6日	
交付決定金額	296,000 円	(全体事業費 296,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療キットについて、自治会未加入者約 500 世帯、加入者 768 世帯に周知し、作成した。 ・未加入者の大半は賃貸ワンルームマンション、アパート、マンションである。 ・訪問の結果、一人暮らし高齢者 264 世帯、昼間孤独高齢者 36 世帯を把握できた。 <p>◇自己評価</p> <p>今回の事業は、高齢者の方に特に喜ばれ、やりがいもあった。 賃貸住宅に住んでいる方は、この地に長く住む観念が薄く、自治会活動の参加率も低い。これからも粘り強く加入促進に努力していく。</p>	
市評価	<p>高齢者の一人暮らしや昼間孤独高齢者及び障害者の緊急時の救命支援として、大変重要な事業である。 自治会加入促進の点では、自治会加入費の問題や自治会事業への参加が中々できない等の理由からか加入できない方も多いようであるが、長い目で見て“身近な自治会”をPRして行っていただきたい。</p>	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	西一パワーUP! 事業	【No. 6】
申請団体	自治会法人西一自治会	
事業目的等	<p>寄附頂いた車(軽バン)を活用し、地域内の防犯活動、資源循環活動、広報活動のより一層の充実を図り、活性化につなげるもの。</p> <p>地域における公共的な担い手づくりとして協力者の掘り起こし、ホームページの開設による情報発信の充実を図る。</p>	
交付決定日	平成22年 9月 6日	
交付決定金額	259,000 円	(全体事業費 259,000 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附頂いた車(軽バン)を活用し、地域内の防犯パトロール(青パト)を頻繁に実施(週2～3回)。 ・上記の車で資源循環活動(資源回収月1回)実施。ホームページ立ち上げ準備委員会の設立。 ・自治会広報活動にも利用。各種のイベント・行事の宣伝(放送宣伝) ・地域の公共的な担い手づくりとして、協力者の掘り起こしを行い若手も加わった自治会ボランティア団体の活用を図った。 <p>◇自己評価</p> <p>青パト活動・資源循環活動には自治会役員以外の一般会員の参加希望の申し出や、絆会(老人会)の応援希望がある等、徐々に公共的地域活動を下支えする担い手の拡大が見受けられ、23年度は1年間を通した活動となるため、より一層の充実が図れるものと思う。</p> <p>青パト活動を実施したことで持ち回りの防犯パトロールに幅ができ、地域の安全安心がより大きく担保された。</p> <p>ホームページ立ち上げ準備によって、若い力の参加協力が地域の新しい波を起こしてくれるものと期待している。</p>	
市評価	<p>地域内の防犯パトロールが頻繁に行われたことで、犯罪の少ない地域となってきた。</p> <p>寄附頂いた車を十分に活用し、自治会活動に使用されており、地域内の色々な情報交換がより一層できている。</p> <p>担い手の育成については、時間がかかることであるので、目標をしっかり定め、地道に取り組んでいただきたい。</p>	
備考		

平成22年度 地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	交通安全マナーアップ事業 【No. 7】
申請団体	大野中地区交通安全母の会
事業目的等	<p>独自のスタッフジャンパーを着て、色々な場所で交通安全PR活動を実施することにより、区民の交通安全意識を高める。また、母の会の担い手育成へのきっかけづくりとする。</p> <p>さらに、地区の各公共的な団体との連携を深め、地区ふるさとまつり等地域のまつりやイベント、公民館主宰の事業等への参加増加につなげる。</p>
交付決定日	平成22年 9月 6日
交付決定金額	300,000 円 （全体事業費 300,000 円）
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全母の会のキャッチフレーズを入れたスタッフジャンパーを着用し、街頭キャンペーンを実施。 ・交通安全のルール(特に歩行者や自転車のマナーを中心)を、紙芝居を利用し子どもやその親御さんに訴える良い機会となった。 ・ふるさとまつりではスタッフジャンパーを着用し、交通安全母の会としてのPR活動も行った。 <p>◇自己評価</p> <p>公民館まつりでの紙芝居は、子どもたちが真剣なまなざしで、聞き入っており、自分達も一層真剣に取り組むことができた。</p> <p>交通安全母の会として初めての活動だったが、徐々に自分たちで楽しみながらすることができ、対象の子どもや親へも伝わったと思う。今後は幼稚園や保育園、更にはお年寄りが集まる場所等へ訪問し紙芝居によるマナーアップ講習ができるよう調整していきたい。</p>
市 評 価	<p>南区では小さいお子さんやお年寄りの自転車や歩行者の交通事故が多く、その年齢層に焦点を当てて取り組んだ交通安全マナーアップ運動。自分たちで考え、準備や練習をして取り組んだことで、より真剣に訴えることができたものと思われる。次年度はその効果が結果(数値)として表れることを期待する。</p>
備 考	